

図 書 館 事 業

〔１〕気軽にいつでも気持ちよく利用できる図書館

<目標・取組み概要>

すべての市民に，気軽に，いつでも気持ちよく利用される図書館を目指します。

- (１) 市民の意向を的確に把握し，市民が求めている図書館運営を目指します。
- (２) 市民が各種情報を容易に得ることができるよう，多様な資料の収集・整理・保存に努めます。また，各種視聴覚資料及び逐次刊行物の収集・整理を行います。
- (３) 市民が求める図書館資料等をいつでもどこでも迅速に提供できるよう，サービスの強化に努めます。
- (４) 図書館と市民ボランティアとの協働で各種行事を展開することにより，市民への利用促進を図ります。

<自己評価>

- (１) 図書館協議会で「守谷の図書館概要」を中心に運営状況を検証しています。公共図書館としての運営やサービスが適切に行われているかなど，市民の目線で意見を聴くことができました。

先進地視察研修では，指定管理者制度を導入した東京都葛飾区立中央図書館視察を行い，先進地でしか得られない貴重な情報を得ることができました。

- (２) 市民一人当たり５００円の資料費をもとに，図書資料１６，２１６冊，視聴覚資料３９３点，雑誌３０５タイトル，新聞３３種を収集して資料の充実を図りました。

近隣自治体の資料費

区 分	資料費(千円)	市民１人当たり(円)
牛 久 市	22,399	266
取 手 市	29,360	266
常 総 市	13,075	204
つくばみらい市	8,688	184
守 谷 市	33,544	532

県内市町村図書資料費ベスト５

順 位	市町村名	市民１人当たり(円)
１位	守 谷 市	532
２位	神 栖 市	496
３位	結 城 市	443
４位	東 海 村	404
５位	笠 間 市	377

- (３) 利用状況は，年間の市民一人当たりの平均貸出冊数が１３．５冊，一日平均貸出者は８１８人でした。中央公民館の耐震改修工事期間中，公民館図書室を４月から９月まで休室しましたが，大きな影響は見られず高い水準を維持することができました。
- (４) 図書館を拠点に市民参加型ボランティアによる「読み聞かせ，本の修理，音訳テー

ブ・点字本の作成等」積極的な活動をしています。図書館への登録団体・サークル数 17 団体で、会員は 210 人です。市民ボランティアによるおはなし会を、年間 87 回〔週 2 回程度〕、本の修理を週 3 日行うなど、市民との協働による図書館活動を進めることができました。また、市民ボランティアを養成する講座を開き、新たな市民ボランティアを育成することができました。

- ・ 生後 3・4 ヶ月児健診時に行っているブックスタート事業を月 2 回開催し、延べ 679 人の乳児の参加がありました。親子のふれあい、親子のコミュニケーションの大切さを伝えるため、ボランティアによる読み聞かせや絵本（2 冊）を無料配布し、早くから本と触れ合う機会を設けるなど、親子のふれあいを支援しました。
- ・ 読書週間の催し物として、ボランティア団体による各種講座を開催し、多くの来館者でにぎわいました。また、同時に開催したりサイクルブックフェアでは古くなった本の有効活用を図るため、初日、一冊 100 円で、354 人に 1,766 冊を販売しました。2 日目は無料配布で、573 人に 5,184 冊を配布しました。大変好評で、今後もリサイクルブックフェアを続けていきます。

＜今後の課題と対応方向＞

- （1）自由かつ公平な市民サービスを展開するには、図書館運営及び各種行事を市民の目線で見たと意見等を聴くことが大切です。視察研修は、先進地でしか得られない情報や運営方法を研究するうえでも必要です。今後の図書館運営に生かしていきます。
 - （2）市民一人当たりの資料費は、県内トップと高水準であり、今後ともこの水準を維持していきたいと考えています。
 - （3）貸出しや利用者の増加に対応するため、市民が求める資料及び情報提供、書架整理などを適切に行い、窓口サービスの向上に努めていきます。
 - （4）読み聞かせ、ブックトーク、パネルシアターなど、市民が受講できる各種講座を行うことで、ボランティア活動を続けていただける方の育成と活動の場の確保に努めていきます。
- ・ ブックスタート事業のフォローアップとして、平成 23 年度から 1 歳 6 ヶ月児と 3 歳 5 ヶ月児を対象とした親子への読み聞かせを始めましたが、参加者が少ない 3 歳 5 ヶ月児への読み聞かせは平成 24 年度で終了とします。
 - ・ 読書週間の催しとして、ボランティアによる講座を開催していますが、マンネリ化しつつあります。実施団体と講座内容等を協議し、魅力あるものにします。
 - ・ 不要になった本を市民に活用してもらうため、今後もリサイクルブックフェアを続けていきます。

＜外部の方々からいただいた意見＞

- * 重要な協議案件があるときは、図書館協議会の開催回数を増やして欲しい。
- * 豊富な資料収集と要望の多い視聴覚資料が充実している。
- * 市民ボランティアによるおはなし会は、延べ 1,864 人の参加者があり好評です。
- * 子育て経験の豊かなボランティアの方もおり、赤ちゃんの扱い方が上手でした。
- * リサイクルブックフェアで本を探すのが楽しみです。

〔２〕図書館機能の強化とサービスの充実

＜目標・取組み概要＞

市民の知的欲求を保障し、日常生活に活かすため、図書館機能の強化とサービスの充実を図ります。

- （１）図書館ネットワークの活用により、市民が求める資料及び情報を効率的、効果的に提供するサービスを行います。
- （２）学校、保育所、幼稚園との連携を強化し、読書活動への支援を推進します。

＜自己評価＞

- （１）図書館ネットワークを通じて、どこでも誰でも、公平な利用案内、各種情報及び貸出返却を提供することができました。希望した予約の本を、配送サービスを使って最寄りの貸出窓口確実に届けることができました。
- （２）学校図書館への奉仕員の配置及び学校図書館システムの導入効果として、検索機能の向上と窓口対応の迅速化が図られました。また、小中学校の児童生徒の年間一人当たり貸出数は、小学校で２２．８冊と横ばいでしたが、中学校では３．４冊から４．１冊に増え、子ども読書活動の推進が図られました。

＜今後の課題と対応方向＞

- （１）本の予約は増加傾向にあり、一日平均４２９冊でした。これらの準備や配送を、火曜日から日曜日まで毎日、確実に行っていかなければなりません。このため、図書館及び公民館図書室間の配送やブックポストの回収など、配送等の仕方の再検討が必要です。
- （２）学校図書館の利用拡大を図るため、図書館と学校図書館との情報交換を密に行うとともに、学校図書館システムの有効利用について検討が必要です。

＜外部の方々からいただいた意見＞

- * 本の予約をインターネットや窓口で申し込みをすると、最寄りの図書室への配送があるので大変便利です。
- * ブックトークなどに児童生徒の保護者ボランティアの活用を図るべき。

〔３〕施設・設備の安全

＜目標・取組み概要＞

誰にでも使いやすい図書館を目指し、施設環境の整備、充実に努めます。

- （１）保守点検及び修繕に努め、市民に快適な空間を提供できるよう努めます。

＜自己評価＞

- （１）空調設備等の補修工事を行うことで、快適な図書館利用に努めました。
- （２）児童フロアと事務室の窓にゴーヤによるグリーンカーテンを設置し、環境に配慮し

た空間を提供することができました。

<今後の課題と対応方向>

建設から18年が経過し、施設の老朽化が進んでいます。計画的な施設改修が必要です。

<外部の方々からいただいた意見>

＊ 開館時間を延長してほしい。